

市議会だより

第158号



こども議会体験会終了後の集合写真

もくじ

- 第1回定例会で審議した議案とその結果など … P2～P4
- 市政に反映、皆さんの声(代表・一般質問) … P5～P12
- 各委員会の議案等の審査結果 … P12～P13
- 議会のうごき、人事案件など … P14
- 議員定数の見直しについて … P15
- こども議会体験会の内容、編集後記 … P16

令和8年 第1回(3月)定例会

2/26 ~ 3/26 29日間

本定例会では、条例の制定、条例の一部改正及び令和7年度の各会計の補正予算、また、令和8年度一般会計予算や特別会計予算などの審議を行い、次のとおり決定しました。

■ 本定例会で審議された議案とその結果

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	日田市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第2号	日田市保健センターの設置及び管理に関する条例の廃止について	//
議案第3号	日田市交通安全対策会議条例の廃止について	//
議案第4号	日田市教育委員会の委員の定数に関する条例の廃止について	//
議案第5号	日田市部設置条例の一部改正について	//
議案第6号	日田市行政手続条例の一部改正について	//
議案第7号	日田市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部改正について	//
議案第8号	日田市一般職員の給与に関する条例の一部改正について	//
議案第9号	日田市行政財産使用料条例の一部改正について	//
議案第10号	日田市手数料条例の一部改正について	//
議案第11号	日田市高齢者生活福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	//
議案第12号	日田市立診療所条例の一部改正について	//
議案第13号	日田市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決(多数)
議案第14号	日田市森林等火災防止条例の一部改正について	原案可決(全会一致)
議案第15号	日田市市道の構造の技術的基準等に関する条例の一部改正について	//
議案第16号	日田市公園条例の一部改正について	//
議案第17号	日田市景観条例の一部改正について	//
議案第18号	日田市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	//
議案第19号	日田市公共下水道条例の一部改正について	//
議案第20号	損害賠償の額の決定について	//
議案第21号	日田市過疎地域持続的発展計画の変更について	//
議案第22号	市道路線の廃止について	//
議案第23号	市道路線の認定について	//
議案第24号	専決処分(令和7年度日田市一般会計補正予算(第7号))の承認について	原案承認(全会一致)
議案第25号	令和7年度日田市一般会計補正予算(第8号)	原案可決(全会一致)
議案第26号	令和7年度日田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	//
議案第27号	令和7年度日田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	//



令和8年第1回定例会 賛否の主な討論の内容

■ 議案第32号(反対討論)

包括的民間委託導入調査事業について反対である。この事業は、技術職員の大幅な退職や採用難を理由に、点検から補修までを一括して複数年契約する包括的民間委託の導入について調査するものであるが、インフラ管理を安易に効率化という物差しだけで、民間に移管することには大きな危惧を抱かざるを得ない。職員が足りないから外注するという安易な選択をする前に、日田市の重要なインフラを自前で守り抜くため、人へ投資を尽くすべきであり、数十年先の日田市の持続的発展を見据えた基礎自治体としての責務を果たすことになるのではないかと考え、反対するもの。

■ 議案第32号(賛成討論)

包括的民間委託導入調査事業について賛成である。この事業は、行政と民間が一体となって、地域のインフラを守る体制を築くことができないか、その可能性を調査するものである。このまま直営という原則に固執し続け、職員不足によって、維持管理業務に遅滞が生じれば、住民福祉の低下を招く本末転倒の事態になりかねない。包括的民間委託は複数の業務や施設を一括して委託することで、民間事業者の創意工夫やノウハウを活用し、効率的・効果的な管理を目指すものであり、道路管理の質を落とすことなく、将来にわたり持続可能な体制を築くためにも、まずは導入の可能性を丁寧に調査する本事業には、意義があると考え、賛成するもの。

■ 議案第13号、議案第32号、議案第33号、議案第34号、議案第36号(反対討論)

議案第13号及び議案第33号については、子ども・子育て支援法等の改正に伴い、子ども・子育て支援納付金課税額を暫定的に定めるもので、年金生活者や低所得層にとっては、国民健康保険税のきつい増税となる。子ども・子育ての支援については、国の責任で行うものであって、保険加入者が保険税の増税で負担すべきものではないことから、反対するもの。

議案第34号については、令和8年度の1人当たり保険料を、引き上げる予算案となっており、子ども・子育て支援金の負担金額は、加入する保険で異なるため、収入の少ない人の方が負担が増える場合がある。また、高齢者の負担をふやしてサービスを削減することは、親を支える子供世代の負担に直結するもので、現役世代の将来不安を広げることから、反対するもの。

議案第36号については、東溪診療所において、令和8年度から出張診療をやめることや、診療日及び診療時間が短縮されることにより、診療所管理費が削減されている。前年度の診療実績から見て、週3日、9時から12時に短縮される影響は小さくない。医師確保が難しいという現状は理解するが、地域の要望は、医師確保は診療所の設置者である市の責任であり、引き続き努力してくれというものだった。このような天瀬地域の要望を受けたことから、反対するもの。

議案第32号については、議案第33号、議案第34号、議案第36号に係る3つの特別会計予算への繰出金が計上されていることから、反対するもの。

■ 議員提出議案第1号(反対討論)

今回の2名削減案は、人口減少に伴う、妥当な定数は正のように見えるが、その実態は、日田市の民主主義の土台を市民の気づかぬうちに、切り崩していくものである。反対理由は3つである。第1に定数削減がもたらす立候補のハードルの上昇、第2に少数に絞れば質が上がるという論理の矛盾、第3に二元代表制におけるチェック機能の維持である。身を切るという言葉で、市民の声が届く窓口をなくしてはならないもので、なり手不足の解消は、入口を狭めることなく、報酬の適正化、育児手当を支給する制度の創設や、中小企業で働く現役世代の立候補を促すため、元の職場に戻れる仕組みづくりなど、活動環境の整備、そして議会の見える化によって解決すべきである。多様な市民が主役となる日田市を守るため、反対するもの。

■ 議員提出議案第1号(賛成討論)

今回の定数見直しにあたっては、3つの点が重視されており、第1に人口規模が縮小する中であっても、市民の声を市政に反映させるために必要な審議体制と多様な視点を確保すること。第2に議会運営の安定性を損なわない、実現可能な定数とすること、第3に市民の皆様からのご意見を踏まえ、市民の理解と納得が得られる水準とすることである。また、議員定数を大幅に削減した場合、新人、女性、若者の立候補を困難にし、多様な意見を反映させることが困難になる。こうした点を総合的に勘案した結果として示された定数2名減20名とする提案は、地域の実情と議会機能の双方を踏まえた最も合理的な結論であると考え、賛成するもの。



令和8年第1回定例会では、3月5、9、10日の3日間にわたり、5会派の代表質問及び一般質問が行われ、14人の議員が諸問題について質問しました。それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。

さらに、日田市出身の井上準之助氏の功績の紹介と併せてBRT沿線を周遊する観光マップを備えた漫画冊子を制作し、経済誌において市長と業界関係者による対談を企画している。

質問 郷土の偉人などを活用したトップセールスの一層強化について、その内容を伺う。
部長 大河ドラマ「豊臣兄弟！」について、豊臣秀長の鎧が草野本家に所蔵されていることを好機と捉え、特別展示に合わせ、「豊臣兄弟！」の出演者を本市に招聘することを計画している。

質問 子どもの学びの環境に関する検討委員会を設置するにあたり、小中学校の統廃合に向けたものなのか伺う。
教育長 統廃合を前提とした委員会ではなく、学びの環境整備を第一に考え、適正規模・配置を検討し方向性を示すものだが、児童生徒数の現状も踏まえると統廃合の議論も視野に入れざるを得ない。



代表質問

質問

今年度の新規事業が21事業あるが、市長が思う重点事業は何か伺う

回答

新清掃センター建設、物価高騰対策、こども総合部設置、企業誘致等



市政クラブ
梅原 竜也 議員

議会をご覧になりませんか

会議は、公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。車いす(3台分)での傍聴もできます。皆さんのお越しをお待ちしています。





代表質問

質問

休園に伴う光岡こども園の活用
検討は？

回答

放課後児童クラブの活動場所と
して検討している



新世ひた

居川 太城 議員



質問 光岡こども園について今

後の活用検討はあるのか市の見
解を伺う。

部長 放課後児童クラブの定員
を超過しているクラブの活動場
所として検討している。

質問 高瀬こども園が、当初予
定の令和9年4月の開園から2
年遅れとなる事をどう感じてい
るのか。現状、最も不利益を被
るのは保護者や今後利用する地
域の園児達である。これについ
て市長としての所感を伺う。

市長 現園については園児に影
響が出ない様に修繕等適切に対

応していく。本件に関してここ

まで時間がかかってしまった原
因は当初、道路や土地、建築に

ついての知見が十分でない福祉
保健部単独で事業を進めていた
ことや不安への十分な対応策を
示す事ができず住民全体の同意

を得る事が難しい状況が続いた
ことと認識しており本件を重く
受け止
めている。



高瀬こども園

代表質問

質問

なぜ今教育を変える必要がある
のか伺う

回答

子ども自らが急速な社会変化に
対応できる力を育むため、画一
的一斉授業の見直しが必要



市民クラブ

中島 章二 議員



質問 新教育大綱基本理念

「Take Action for
the Future 学び、考
え、行動する 未来の社会を創る
のはわたしたち」とは何か伺う。

市長 基本理念はイメージしや
すく前向きな表現としてのフ
レーズを使いたいと考え、未来

や前に進む気持ち、また教育を
受ける当事者である子どもたち、
そして私たち大人を含めた市民
の皆様にも当事者になっていた
だき、行動しよう、変えていこう、
そして社会をつくっていかうと
いう思いを込めた。

質問 旧郡部振興の次のフェー
ズについて伺う。

市長 これまでの困り事への対
応を生み出した取組から一歩進
み、地域が持つ魅力や資源を積
極的に生かした前向きな振興策

の展開を目指したいと考えてお
り、具体的な振興策について検
討を進めていきたい。



代表質問

質問

花月川河川改修に伴う橋の架替期間の観光・交通対策を問う

回答

丸山町側に大型観光バスの駐車場の確保、豆田地区の2つの通りを一方通行で地元提案した



日本共産党

大谷 敏彰 議員



質問 今後の進め方を伺う。

部長 地域住民の生活への配慮、

観光への影響の最小化、伝統行事の継続への配慮の3点を踏まえ、4月に2回目の協議をする。

質問 国の交付金を活用した市民生活や地場企業支援をどう考えているか。

部長 3月補正予算で3事業3億8千万円を計上している。残り約1億1700万円は今後の物価動向による市民生活への影響を考慮して支援する。

質問 上下水道事業の官民連携

ウオーターPPPの調査結果を

踏まえてどうするか伺う。

局長 公下水道事業のみに

ウオーターPPPレベル35更新実施型を導入する方向で検討を進めていく。

質問 この他、介護保険制度の改悪(利用料の2割負担、ケアプランの有料化など)、国民健康保険の負担軽減、ひきこもり支援

では実態調査の結果と今後の取組について質問した。

の結果と今後の取組について



代表質問

質問

市役所の職場環境改善の取組について伺う

回答

女性管理職の計画的な人材育成と機動的に対応できるチームの設置を検討する



公明党

坂本 茂 議員



質問 市役所の職場環境改善の取組について伺う。

市長 あらゆるハラスメントの

防止と早期の対応を徹底するとともに、女性職員のキャリア形成を支援する研修会の充実を図るなど、計画的な人材育成を推進していきたい。また、令和7年度に2つのプロジェクトチームを設置して検討を重ねてきたところである。今後も必要に応じて、機動的に対応できるように設置を検討しながら、組織全体で成果を生み出す行政運営を進めていきたい。

質問 主伐への本格移行と確実な再造林の実施状況を伺う。

部長 再造林すべき林地が急増したことで、苗木の確保や造林、

育林の担い手の確保が急務となっている。造林作業の担い手確保・育成のため、事業体を実施する新規就労者の研修費への補助や技術向上と労働安全対策の費用の補助に取り組んでいる。

費用の補助に取り組んでいる。





一般質問

質問

日田市の公園整備と今後の方針について伺う

回答

既存の公園の活用を基本としながら、地域の実情に応じた、多くの人が集い、親しまれる、魅力的な公園整備に取り組んでいく



市民クラブ

今井

美保 議員



質問 SNSで話題になっている福岡県大任町の「ふれあい広場」や、宗像ユリックス内の子ども広場「ムーモ」を知っているか。

部長 承知している。施設の内容や利用状況を調査した上で、本市の公園施設にも採用できるものがあれば参考にしたい。

質問 公園は、子供たちはもちろん、市民の方々が何回も行きたくなるような魅力ある場所であればならない。そうすれば、子育て世代だけではなく多世代の人が集まり賑わい、観光資源のひとつになるのではないか。

部長 観光資源としての効果も期待されると考えられる。既存の公園のリニューアルや規模、適正な配置も含めて、様々な公園を参考に、本市に合った魅力的な公園の整備方法について調査・研究していきたい。

質問 この他「産前産後の経済的支援」と「加齢性難聴者の支援」について質問した。

部長 林地崩壊の防止、流木被害の軽減、風倒木被害の軽減の3つにしぼり、国県の事業に乗せ補助等で支援している。

質問 林業従事者の推移はどうか。



一般質問

質問

耕作放棄地と農業従事者の推移はどうなっているか

回答

近年の放棄地の割合は13%、従事者は5年間で3割ほど減



市政クラブ

財津

幹雄 議員



質問 気象状況に影響されない、梨ブドウ西瓜等の産地強化の取組とは。

部長 梨では遮光性の袋、西瓜では雨よけハウスの導入、ブドウではかん水施設導入支援など各部会と協力し試行している。

質問 災害に強い森づくりはどのうしているか。

部長 林地崩壊の防止、流木被害の軽減、風倒木被害の軽減の3つにしぼり、国県の事業に乗せ補助等で支援している。

質問 林業従事者の推移はどうか。

部長 林地崩壊の防止、流木被害の軽減、風倒木被害の軽減の3つにしぼり、国県の事業に乗せ補助等で支援している。



一般質問

質問

地域公共交通機関について伺う

回答

AIを活用した配車システムを導入したデマンドタクシーの実証運行を行う



市政クラブ 岩見 泉哉 議員

質問 今年の9月で日田バス五馬線の廃止が決定しているが、

高齢者が多い五馬で路線バス廃止後どのような施策をするのか。

部長 現在AIを活用した配車システムを導入することで当日予約を可能とし、接続先を日田駅まで延伸するデマンドタクシーの実証運行を行う。

質問 デマンドタクシーはなかなか使い勝手が悪く結構不評であるが、こういった部分は実証運行で何か変わるのか。

部長 AIシステムの導入で土曜日を追加することや日田駅まで

延伸することも掲げて課題の解消と利便性の向上に取り組む。

質問 五馬線がなくなると走行距離が長くなり料金の問題が出てくるが、料金設定はどうなるか。

部長 料金については現デマンドタクシーや廃線となるバスの料金を参考にAIのコストなども考慮して考えていきたい。



一般質問

質問

放課後児童クラブの利用増加にどう対応するか

回答

学校施設活用が基本だが、校外クラブを活用し待機児童を防ぐ



市政クラブ 崎尾 亮介 議員

質問 日隈小学校では教室の定員を利用希望者が大幅に超える

がどう対応するか。

部長 校外の「ひたっ子クラブ」で受け入れをし待機児童は出さないようにする。

質問 教室不足は学校運営にも影響するのではないか。

教育次長 特別支援学級も増加傾向にあり、教室確保は厳しい状況にある。学校優先だが放課後対策も重要。

質問 日隈小は実質「教室不足」、今後5年をどうするのか。

部長 学校施設活用が基本だが

困難、校外クラブを活用しつつ利用状況で判断する。

質問 今後の放課後対策をどのように進めるのか。

市長 待機児童対策を重視する。放課後は自主性、社会性を育む人間形成に重要な時間と考える。公民館と連携し、多様な学びを提供する。





一般質問

質問

産業振興センター解散と今後の支援体制は

回答

商工会議所等と連携し新たな地場産業支援を構築する



無所属

高倉 貴子 議員

質問 センターを支えてきた納入業者に対し、解散の周知が不十分だ。市が直接説明するなど丁寧な対応が必要だった。

部長 各業界から出席する理事会で解散を確認しており、各団体が情報共有がなされていると考えていた。

質問 販路開拓支援や跡地活用など、今後の公的な支援体制について市が責任を持って明確な方向性を示すべき。

部長 販路開拓は重要であり、新たな支援体制を構築する。施設活用も早急に検討したい。

質問 「ふるさと住民登録制度」を活用し、外部の学生団体等と地域を繋ぐべきだ。市も既存の枠を超え、外部のコミュニティへ飛び込む姿勢が必要だ。

市長 これまでのネットワークや繋がりを最大限に活かしたい。若者が地域のために活動したいという意欲を形にできる仕組みづくりを努めていく。



閉店した日田玖珠地域産業振興センター

質問

5歳児健診の実施について市の考えを伺う

回答

できるだけ早期に5歳児健診の実施を目指し検討を進める



市政クラブ

中原 晴剛 議員

質問 5歳児健診は現在実施されていないが、実施されていない理由を伺う。

部長 医師等の十分な確保が必要となり実施体制を構築できるかどうかといった課題がある。代わりとして、年中児を対象に5歳児発達相談会を年3回実施し、個別に相談支援を行っている。

質問 5歳児発達相談会の参加率は、どの程度か伺う。

部長 対象となる年中児が386人、このうち54人が参加しており、参加率については約

14%となっている。

質問 国は令和10年度までに、5歳児健診の実施率を100%とすることを目標にしている。今後、日田市も実施される予定があるのか伺う。

部長 令和10年度までの実施を意識しつつも、できるだけ早期に、5歳児全員を対象とした健診の実施を目指したい。





一般質問

質問

「日本版CCRC」構想の取組については、何か考えがあるか

回答

現在、第3期総合戦略の基本目標に取り組んでいる。成果も出ており、まずはこれに注力していく



新世ひた

佐藤 孝彰 議員



質問 条件が悪く、若者が戻りにくい地区もあるが、どの様に
部長 地域の声を集約する仕組みとして、郡部を対象に「プロジェクトチーム」を作り課題を
約し、地域の活動や様々な施策に生かしている。

質問 日田の魅力発信事業である。
米と称してブランド米を販売している、本市には研究・開発する部署は無いのか。また地域創生に関するセミナーはできないか。
部長 新たな事業立案は各部署が担当しており、他市においても概ね日田市と同様なケースである。またセミナー等は無い。地域福祉計画において地域共生社会の実現に向けて取り組んでいる。



一般質問

質問

かさ上げされる堤防が川の眺めを邪魔しない工夫を行うか

回答

表面に木目調デザインなど景観に配慮した整備を検討している



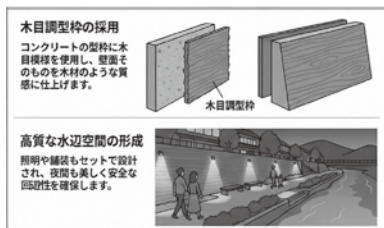
日本共産党

日隈 知重 議員



質問 天ヶ瀬温泉街のかさ上げされる堤防が、川への眺望を邪魔しない工夫を行うのか。
部長 擁壁の表面に木目調のデザインを取り入れるなど、景観に配慮した整備を検討している（イラスト上参照）。
質問 天ヶ瀬温泉街のまち歩き
の確保が、復興まちづくり計画に含まれているか。
部長 町なかと水辺を安全に結ぶ階段やスロープを設置し、歩いて楽しい水辺空間の創出を図っていく。

質問 河川改修の対象外区間が
残ることで、まち歩きが分断される心配がある。市独自の補完的な整備は考えていないのか。
部長 対象外区間については、公共サインの整備や照明設備の充実など、市として必要な整備に取り組みたい（イラスト下参照）。
質問 この他、光岡こども園休園の説明先に
ついて質問した。



作成者：日隈 知重



一般質問

質問

金銀錯嵌珠龍文鉄鏡の日田市への里帰り展示は出来るのか伺う

回答

文化財保護法の基準を考慮すると、財政的、技術的にもハードルが高い



市政クラブ

原田 裕文 議員



質問 展示会場のシミュレーションやそれに係る予算等の検討をされたのか伺う。

部長 行っていない。

質問 検討はされていない状況であれば、検討を進めて欲しい。

市長は文化財等を守る保存だけではなく、観光や経済活性化に活かす戦略を進めているが、金銀錯嵌珠龍文鉄鏡の里帰り展示は最大効果が見込まれると思うが、市長の考えを伺う。

市長 金銀錯嵌珠龍文鉄鏡、日田市の極めて貴重な宝物であると思っ

許可は極めて難しいため、里帰り展示以外に、鏡を所蔵する九州国立博物館に、特別展示を依頼し、その機会に日田市で各団体と連携してイベントを開催してアピールする方策を検討したい。

質問 市長には、金銀錯嵌珠龍文鉄鏡の里帰り展示を諦めずに、積極的に取り組んで欲しい。

市長には、金銀錯嵌珠龍文鉄鏡の里帰り展示を諦めずに、積極的に取り組んで欲しい。



金銀錯嵌珠龍文鉄鏡

報告

各委員会の議案等の審査結果

総務環境委員会

令和8年度日田市の当初予算、前年度比3.8%増の420億8584万8千円で過去最大規模の予算となる

今回の主な歳入は、市税全体で前年度比1.7%増の84億2072万5千円、地方特例交付金や地方交付税、国庫支出金なども増額となっています。寄附金については、ふるさと納税の水郷ひた応援基金寄附金の増を見込み、前年度比117.9%増の14億2290万1千円となっています。

住所表記整理調査事業

この事業は、地番表示区域に存在する二重住所の課題解消に向けて、公証住所について、市民に周知を図るとともに、郵便番号の対応についても検討するものです。

市民に対しては、公証住所が

正式な住所であることを理解してもらおうように、丁寧な周知を行い、その後の対策を講じるよう要望しました。

乗合タクシー運行事業

この事業は、公共交通空白地域における住民の移動手段を確保するため、乗合タクシーを自宅付近からJRの最寄り駅又はバス停まで運行するものです。令和8年度は、民間バス路線が廃止される天瀬地区で、AIシステムを導入した乗合デマンドタクシーの実証運行を行います。

実施に当たっては、運行パターンや市民の利用状況などを調査・検証し、委託するタクシー協会とも十分に事前協議を行い、効果的で効果的な方法で実施するとともに、料金体系の決定後は、速やかに市民に周知するよう要望しました。





教育福祉委員会

高瀬こども園の建て替えに向け用地の追加購入を認める

● 高瀬こども園施設整備事業

高瀬こども園の建て替えに向けた用地購入(追加)を行うものです。執行部から「新たにインクルーシブ保育の実施(どの子ども一緒に育つ)や子育て支援センターの併設を考えている」「東側駐車場は子どもたちのための土地として購入(令和5年度)していることから、今後も子どもたちのために活用していく」との説明がありました。

議員から「整備にあたっては専門家の意見を取り入れる必要がある」「整備費が当初の見積りから約2億円の増加となることは民間では考えられない」との意見がありました。

● 高齢者エアコン設置支援事業

家庭用エアコンがない高齢者非課税世帯に対し、エアコンの購入と設置にかかる費用の一部

を補助するものです。執行部から「令和7年度の事業見込みは約840万円(予算約3千万円)」との説明がありました。

申請できなかったケースの調査を早急に行い、エアコン設置が必要な高齢者の申請につながるよう要望しました。

● 小中学校教育環境整備検討委員会の設置

小中学校の適正規模や適正配置などの教育環境について検討委員会を設置します。市民の参加の公募制を一部取り入れ、児童生徒数だけにとらわれず、特色ある学校や教員の適正配置も検討するよう要望しました。



産業建設委員会

産業振興と安全な基盤整備の両立を求める

● 農業振興ビジョン推進事業

令和10年度以降の次期ビジョン策定に向けた準備を行うものです。農業者の高齢化が進む中、持続可能な農業を追求する必要性が議論され、地域住民の声も広く取り入れ、実効性のあるビジョン策定を要望しました。

● 公園施設整備事業

日田駅南広場に、新たな名所として、温度計を設置するものです。駅前などの他の観光スポットとの位置関係を考慮した設置場所の検討を要望しました。

● 観光誘客宣伝事業・進撃の巨人を活用した誘客促進事業

大河ドラマ『豊臣兄弟!』やマンガ『進撃の巨人』を活用した情報発信、イベントにより地域経済の活性化を図るものです。一過性のブームに終わらせず、学生など若い世代や地元住民を積

極的に巻き込み、市民が一体となって来訪者を迎える体制づくりと、効果的な情報発信を要望しました。

● 道路管理包括的民間委託導入調査事業

本事業は、老朽化した道路インフラを効率的・戦略的に維持管理するため、民間のノウハウを活用する包括的委託の導入を検討するものです。「想定される問題点も多く、時期尚早だ」との反対意見や、「効率的・効果的な管理を目指すものであり、持続可能な体制を築くためにも、まずは導入の可能性を調査する本事業には意義がある」との賛成意見が出されました。





議会のこぎき



子ども議会体験会を実施

2月15日(日)、昨年に引き続き、若い世代に対し、議会への関心を持ってもらうと共に、議会の仕組みや役割などを広くアピールし、議会の見える化を促進することを目的として「子ども議会体験会」を開催しました。

体験会では、議場で発言するなど、議員になりきるといった貴重な体験をしていただきました。(※詳細は16ページ)

また、今回は特別プログラムとして、体験会のオープニングに「日田杉のバイオリン演奏会」が開かれ、日田が誇る高い乾燥技術によって誕生した日田杉のバイオリンの美しい音色が響き渡りました。

参加した子どもたちから「日田杉で作られたバイオリンは少し特別な感じがしました。」といった感想をいただきました。



議員への質問の様子



体験会の様子



演奏会の様子

日田市副市長を選任



古賀 満 副市長

日田市副市長に古賀満氏を選任することに同意しました。

古賀氏は、久留米工業大学附属高等学校を卒業後、平成3年に建設省採用として九州地方整備局に勤務。平成16年からは河川、治水行政を中心に、国土交通省九州地方整備局、国土交通省本省での勤務、令和6年からは九州地方整備局の佐賀河川事務所長を務めていました。

任期は、令和8年4月1日から令和12年3月31日までの4年です。



意見募集

ひた市議会だよりを ご愛読いただき、ありがとうございます。議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお聞かせください。いただきましたご意見等は、皆様からの貴重な声として、参考にさせていただきます。

FAX 22-8249

メール gikai@city.hita.lg.jp

第2回(6月)定例会の予定

※日程は変更になる場合があります。

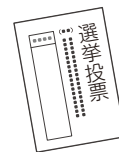
6月	8日(月)	本会議(議案説明)
	15日(月)	本会議(一般質問)
	16日(火)	
	17日(水)	本会議(議案質疑)
	19日(金)	
	22日(月)	委員会(議案審査)
	23日(火)	
	24日(水)	
	26日(金)	本会議(討論・採決)

次の方を選任することに同意しました。
佐藤 純子 氏 (君迫町)

日田市、日田玖珠広域消防組合公平委員会委員の選任



議員定数の見直しについて 【議員定数を22名から20名へ】



●令和9年4月施行の市議会議員選挙から、議員定数を「22人→20人」に見直します。

日田市議会は、令和8年第1回定例会において、次の一般選挙(令和9年4月施行)から適用する議員定数の見直しに関する条例改正案を、賛成多数で可決しました。

●なぜ見直したのか

議員定数や議員報酬については、日田市議会基本条例で、次の考え方が示されています。

1. 議員定数は、議会運営の効率だけでなく、市民の意思を市政へ十分に反映できることが大切。
2. 定数や報酬の改定では、市民の意見を聴き、適切に反映するよう努める。
3. 議員報酬は、経済情勢、市の財政状況、類似都市の状況等を踏まえ、議員活動の状況を反映して定める。こうした考え方に基づき、現在の日田市を取り巻く状況を踏まえて検討を行いました。

●見直しまでの進め方(いつ・どのように検討したか)

議員定数のあり方については、時間をかけて段階的に検討を進めました。

1. 会派代表者会での協議
令和6年5月から、会派代表者会で計8回協議を行いました。
2. 特別委員会での調査・研究
協議の結果、議員定数等のあり方を専門的に調査・研究するため、令和7年3月に「日田市議会 議員定数等調査特別委員会」を設置しました。
特別委員会では、これまで17回協議を行い、あわせて次の取組を実施しました。
・他自治体への視察 ・専門講師を招いた研修会 ・県内及び類似団体の調査、検証
・市民懇談会の開催(アンケート等により意見を把握、検証) など

●見直しにあたって重視した3つのポイント

今回の結論にあたっては、特に次の3点を重視しました。

1. 市民の声を市政に反映できる体制
少子・高齢化が進む中、行政課題は多種・多様化している。議会として必要な審議体制と、多様な視点を確保する。
2. なり手不足を踏まえた実現可能性
議員のなり手不足という現実を踏まえ、選挙や議会運営の安定性を損なわない定数とする。
3. 市民の理解・納得につながる水準
県内の状況、類似団体の状況、市民懇談会の意見などを踏まえ、理解と納得が得られる水準に整える。

●結論

人口が6万人を下回った状況や、議員のなり手不足といった課題等を総合的に勘案し、議員定数の見直しについては、現在の定数22名から2名減の**20名**という結論に至りました。

●大分県内の状況(※人口は、令和7年3月31日現在 ※定数は、令和8年1月30日現在)

市町名	人口(人)	面積(km ²)	議員定数(人)	議員一人当たりの人口数
日田市	59,668	666.03	22	2,712
中津市	81,138	491.44	24	3,381
佐伯市	64,250	903.14	22	2,921
宇佐市	49,546	439.05	21	2,359
臼杵市	33,181	291.20	18	1,843

●類似団体(分類Ⅱ-1)の状況(※人口は、令和7年3月31日現在 ※定数は、令和6年12月31日現在) (人口5万人以上10万人未満、産業構造Ⅱ次・Ⅲ次90%未満かつⅢ次55%以上の団体)

	人口(人)	面積(km ²)	議員定数(人)	議員一人当たりの人口数
46市議会(平均)	64,870	471	22	2,983



表紙の皆さん

日田市議会では、令和8年2月15日(日)、昨年に引き続き、若い世代に対し、議会への関心を持ってもらうとともに、議会の仕組みや役割などを広く内外にアピールし、議会の見える化を促進することを目的に、「こども議会体験会」を開催しました。今回は体験会の内容を紹介します。表紙は、参加いただいた子どもたちとの集合写真です。

① 議会の役割の説明

議会の説明資料を用いて、「市議会は何をするのか」「市民・市議会・市長の関係」などについて説明し、議会の仕組みや役割について理解を深めてもらいました。その後、実際の議場に入り、見学や設備の説明を行いました。

② 本会議の体験

本会議の体験を行いました。子どもたちは議員役を務め、議員は市長などの執行部役となり進行了しました。今回の議題は

「スマートフォン利用のルールをつくること」とし、提案理由の説明の後、シナリオに沿って質疑応答が行われました。

子どもたちは、「ルールを破ってしまった時には、罰金があるのですか?」など、スマートフォンの利用時間や利用場所、ルールなどについて積極的に質問を行い、堂々とした発言が印象的でした。普段は入ることのない議場での体験に緊張しながらも、一人ひとりが真剣に取り組んでいました。



③ 議案の検討

採決の前に、議案について意見を申し合ふ時間を設けました。子どもたちからは、「利用時間が決まれば生活習慣が良くなる」「使いすぎを防ぐことができる」といった賛成意見がある一方で、

「ルールを守れる自信がない」「連絡が取りづらくなる」といった反対意見も出されました。

一つの議題でも、様々な立場から多様な意見が出ることを体験し、他者の考えを聞きながら自分の意見を整理する貴重な機会となりました。

議論の後、採決を行った結果、賛成5人、反対5人の可否同数となりました。そのため、議長による裁決が行われ、最終的に本議案は可決されました。

参加した子どもたちから「去年も出ましたが、議長として出るとまた違って責任感が伴うので、慎重に判断しなければいけないと思いました。」や「議会で発言したときはとても緊張しましたが、貴重な体験ができました。」といった感想をいただきました。



編集後記

今回のこども議会体験会では、市内の小学生が参加し、スマートフォンの利用という身近なテーマについて真剣に考え、自分の意見をしっかりと発言しながら、互いの考えに耳を傾ける姿がとても印象的でした。

採決では可否同数となり、議長裁決によって可決されるという結果となりました。実際の市議会ではあまり見られない展開でしたが、その中でも落ち着いて議事を進められていたことに驚きました。

また、議員への質問の時間では、「どのくらい話し合いをするのか」「意見がまとまらないときはどうするのか」といった率直な質問がありました。

今回の体験が、子どもたちにとって市政や地域への関心を高めるきっかけとなり、将来につながる貴重な経験となることを期待しています。

(議会報編集委員会委員)

崎尾 亮介

◎市議会だよりのお尋ねは、市議会事務局(☎08214)へ。市議会だよりは環境に優しい「植物油インク」を使用しています。